

 評価のポイントCL-2.看護実践能力：ニーズをとらえる力
[2-2] 回復過程（病期）とケアの優先度の判断

患者Aさん 62歳 女性 足関節骨折術後2日目。本日より、車いすでトイレ移動可の指示（患側荷重禁）。ナースコールでトイレ希望があり、車いすを持って訪室した。すると、同室の患者Bさんが、「看護師さん、トイレ行きたい！トイレ！！」とベッド柵をガタガタと揺らしている。Bさん 80歳 女性 認知症。4点柵実施中。1時間前にトイレに行っている。Aさん「手術した足に体重かけなければいいんですよ。私1人でトイレに行けるから大丈夫よ。Bさんの方やってあげてください。」

1. どう対応しますか。対応方法をいくつか列挙してください。
2. それぞれの対応方法について、AさんとBさんへのケアの結果を考えてください。
3. 2からケアの優先度を判断してください。

ケアを選択するときは、緊急性、安全性、重要性が高いものが優先される。いずれの患者も排泄欲求であり、生理的欲求は優先度が高くなる。その際、以下のような対応方法の例が考えられる。

- ①Aさんのほうが先にコールしてきたため、コール順にAさんから介助する。
- ②Bさんを優先し、BさんのあとにAさんの介助をする。
- ③Aさんの提案どおり、Aさんに1人でトイレへ行ってもらう。

これ以外にも、対応を考えてほしい。優先度を判断するときは、以下それぞれの結果を検討する必要がある。

Aさん

尿意（便意）は切迫しているのか
荷重をかけずにトイレまで行けるのか
初めてであり、転倒の危険はないか など

Bさん

認知症であり、待つことの説明が理解できるのか
4点柵をしているから安全なのか、乗り越えて転落しないか
ベッド上排泄は可能なのか など

どうするのが、安全にできるのか、ケア方法とその結果を考えながら、優先順位を考えてほしい。